

第一薬科大学 2024年 春期講習会

カリキュラム

日程	9:00~10:30	10:45~12:15	13:00~14:30	14:45~16:15	対象学年
3/7 (木)	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】		1年～4年
3/8 (金)	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】		1年～4年
3/11 (月)	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】		1年～4年
3/12 (火)	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	1年～4年
3/14 (木)	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	有機化学 【講師：熊】	1年～4年
3/15 (金)	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】		2年～4年
3/18 (月)	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】	生物・薬理 【講師：熊】		2年～4年
3/19 (火)	ファーマス 【講師：篠倉】	物理・分析 【講師：篠倉】	物理・分析 【講師：篠倉】		2年～4年
3/21 (木)	物理・分析 【講師：篠倉】	物理・分析 【講師：篠倉】	物理・分析演習 【講師：篠倉】		2年～4年
3/22 (金)	物理・分析 【講師：篠倉】	物理・分析 【講師：篠倉】	物理・分析演習 【講師：篠倉】		2年～4年

3月19日（火）：ファーマス（薬学数学）は、1年生も対象となります。

第一薬科大学 2024年 春期講習会

～科目別実施内容と講義方針～

科目 実施日	実施内容	講義方針
生物・薬理 3月7日 3月8日	①受容体と伝達形式 ②自律神経系と拮抗二重支配 ③副交感神経系に作用する薬物 ④交感神経系に作用する薬物	自律神経系やオータコイドなどの神経伝達物質とその物質が作用する受容体の分類を確認し、その内容を踏まえて薬物治療の基礎となる拮抗二重支配、自律神経系に作用する薬物を学習していきます。基本的な单元ではありますが、今後薬剤師国家試験の当日まで必ず使っていく知識になりますので、ここでしっかり理解していきましょう。
生物・薬理 3月8日 3月11日	①内分泌系概論 ②視床下部ホルモン ③下垂体ホルモン ④副腎皮質ホルモン ⑤性ホルモン ⑥内分泌関連薬	内分泌系は、薬理嫌いの鬼門です。覚えることが多すぎて諦めてしまっている人も多いのがこの範囲です。丸暗記に走らず、学習ポイントをおさえて系統的に知識を整理していきましょう。
有機化学 3月12日 3月14日	①混成軌道 ②芳香族性 ③立体配置・立体配座 ④酸・塩基の強弱 ⑤置換反応（求電子、求核） ⑥脱離反応 ⑦付加反応（求電子、求核） ⑧アルデヒド、ケトン、カルボン酸の基本的な性質と反応	有機化学は、薬学の基本となる科目であるため、低学年時にマスターすることが必須となります。単なる暗記だけでのりきれないため、論理立てて考える力を養成し、答えを導き出せるように講義を行っていきます。低学年時からロジカルシンキングに慣れ親しんでおきましょう。
生物・薬理 3月15日	①循環器の機能形態 ②高血圧と治療薬 ③腎臓と尿生成機構 ④利尿薬	循環器の機能形態学から高血圧とその治療薬を学んでいきます。また、尿生成機構から利尿薬を繋げて理解していくことで忘れにくい知識を構築していきます。高血圧治療薬は、自律神経系やオータコイドの知識も振り返れるため、生物、薬理の習熟度の確認も同時に行える範囲となっています。

<p>生物・薬理 3月18日</p>	<p>①糖尿病と治療薬 ②脂質異常症と治療薬 ③高尿酸血症と治療薬</p>	<p>循環器系と並んで、患者数が増加傾向にある代謝系疾患を病態的視点及び薬理的な視点で学習していきます。 CBT や薬剤師国家試験でも出題されやすい範囲であるため、実際の問題を通じて、現時点での学力と CBT、国試のレベル感も体験しておきましょう。</p>
<p>ファーマス 3月19日</p>	<p>①有効数字と有効桁数 ②濃度 ③割合 ④指数、対数とグラフ ⑤水素イオン濃度と pH ⑥グラフの変換</p>	<p>薬剤師にとって必要な薬学の基礎計算をマスターできます。 基礎計算ができるからこそ 2 年生・3 年生の計算系の科目が楽しく学べるようになります。</p>
<p>物理・分析 3月19日 3月21日 3月22日</p>	<p>①反応速度と反応速度定数 ②懸濁剤の分解反応 ③医薬品の安定性 ④複合反応の特徴 ⑤酸・塩基とヘンダーソン式 ⑥溶解度 ⑦緩衝液 ⑧強酸・強塩基と弱酸・弱塩基</p>	<p>物理は「わかる」から「できる」までに時間がかかる科目の 1 つです。 低学年のうちに苦手意識をなくし、物理の基礎力アップを図ります。 2 年生の物理の範囲は、3 年生、4 年生の薬物動態学で活用するのでしっかり理解できるようにしていきましょう。 問題演習も充実させることで、解ける楽しさを味わうのも物理・分析の魅力です。</p>

講義順序は、変更される場合がございます。

予めご了承下さいますようお願い致します。

講義内容は、第一薬科大学の依頼により、2 年生の履修科目を中心に構成・実施するようになっております。